

「日本の革」×「クリエイション」東京ニューエイジが オリジナルファッションショーでレザーの概念を 変える柔らかで軽やかなレザーコレクションを披露！

この度、協同組合資材連（所在地：東京都台東区、理事長：西谷秀機）は、12月3・4日に日本最大級の革のトレードショー「第93回東京レザーフェア」を開催し2日間に渡って多くのお客様にご来場頂きました。

第93回東京レザーフェアでは、革の素材としての可能性を追求することを目的に、前回第92回TLFより約半年に渡り「日本の革」と「クリエイション」の出会いがもたらす新しい可能性の発見を求め感性が溢れる若手デザイナー育成プロジェクト「東京ニューエイジ」とのコラボレーション企画を実施。

その集大成として、今回の第93回TLF会場内にてオリジナルレザーファッションショーを開催いたしました。ショーでは、メルセデスベンツ・ファッションウィーク・東京へも参加している、話題の若手デザイナー育成プロジェクト「東京ニューエイジ」からデザイナー村上亮太氏・村上千明氏と横澤琴葉氏がレザーを贅沢に使用したオリジナルのコレクションを披露。今回のコラボレーションを通じ両デザイナーは当初レザーは重厚感がありシック、ハードなイメージがあったが実際には素材としてのよさをしっかり持ちつつもしなやかで多様性があることに驚きと可能性を感じたとコメント。これまでの革素材の概念を打ち破る、柔らかで軽やかな革を使用した作品が登場し、革素材が持つ多様な印象を披露しました。

ファッションショー終了後には、作品を発表したデザイナー2名に加え「東京ニューエイジ」のプロデューサーであるファッションデザイナーの山縣良和氏、坂部三樹郎氏、さらに国内外のコレクションを数多く取材するファッションジャーナリストの宮田理江氏、織研新聞記者の青木規子氏をスペシャルゲストに迎えトークショーも開催、ショー全体のコンセプトやコラボレーションの成果についてトークを展開しました。

ショーを終えた横澤氏は「普段は高級素材でなかなか使用できないレザーですが、レザーの加工技術の多さに驚かされた。レザーのように長年使い続けられるような作品をいつか自分も作りたい。」とコメント。村上氏は「ベーシックな革にもそれぞれ個性があり、実際に見て触れながら作れたことが楽しかった。ブランドのキーワードでもある“野暮ったさ”とレザーの相性の良さも感じた。」と話しました。さらに、山縣氏は「今回はレザーという高級素材を大胆に使える良い機会だった。ヨーロッパなどのように、デザイナーだけではなく全ての業界が連携して新しいものを生み出す流れを作っていく事が重要だと感じている。」と今後の業界の在り方について語りました。また、宮田氏も「今回のショーで斬新だが、アシンメトリーだったりノーゼンダーやピックシルエットなど、2016年世界のトレンドを捉えられた作品も多く、楽しませてもらった。」と高い評価をいただきました。



kotohayokozawa
(ヨコザワコトハ)



RYOTA MURAKAMI
(リョウタムラカミ)

「革コン！革のコンテスト2015」受賞作品も発表！！

その他、山縣良和氏がゲスト審査員として参加した「革コン！革のデザインコンテスト2015」の表彰式も同会場にて実施。全応募総数1,738作品の中から「アイデア部門」「デザイン製作部門」の各最優秀作品賞・優秀賞、山縣氏によるゲスト審査員賞の5つの賞の受賞者を発表。各受賞作品については次項にて詳細をご確認下さい。なお、第94回東京レザーフェアは2016年6月16日（木）・17日（金）に、浅草の都立産業貿易センター台東館にて開催予定です。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先

東京レザーフェアPR事務局 TEL:03-6323-2952（株式会社ネットワークコミュニケーションズ内）

担当：栗田（yasuko@nwcom.jp / 080-3713-2572）、末政（aya@nwcom.jp）、小島（reimi@nwcom.jp）

■kotohayokozawa × 富田興業株式会社

デザイナー 横澤琴葉



1991年名古屋市生まれ。
エスモード東京校卒業後、大手アパレル会社にデザイナーとして勤務。退職後、再びエスモードAMIに通う。
2015年2月ロンドンにてInternational Fashion Showcaseに参加。

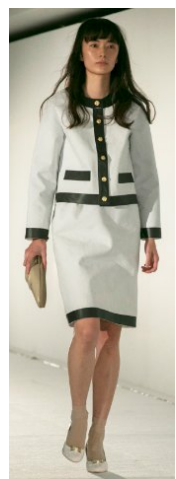
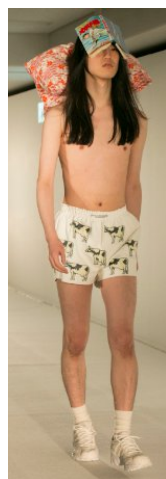


■RYOTA MURAKAMI × 株式会社久保柳商店
株式会社カナメ

デザイナー 村上亮太 / 村上千明



村上亮太(息子)と千明(オカン)によるファッションデザイナーデュオ。2013年渋谷PARCO絶命展で作品を発表し、その後アイドルグループでんぱ組への衣装提供、ミラノ百貨店「リナシエンテ」でのウィンドウディスプレイを担当する。
インターナショナルコンペティションITS2014にてファイナリストとして作品を発表。2014年より「RYOTA MURAKAMI」として活動を始める。



革コン! 革のデザインコンテスト2015 受賞作品一部紹介



アイデア部門

最優秀賞
「革ZOURI」
小野崎 ひかり



デザイン制作部門

最優秀賞
「桜重」
三宅 皓大



デザイン制作部門
ゲスト審査員賞

「こうきゆうでんわ」
小笠原 悠

日本伝統的な履物の草履現在のストリートファッションに合わせずしてレザーの草履を考えました。

職人コメント: 土台となっている革ひもの製作段階から素材にこだわり足当たりの良い柔らかい革素材を使用し編み込みました。

ジャパニズムをテーマに平安時代に流行した伝統の「桜重」で表現しました。日本の伝統を今の多くの若者にも認知していただくため、日本独特の色合いでドレープやボックススタイルに膨らみを持たせ、中世ヨーロッパの風合いを思わせるシルエットでモダンなデザインで提案します。

私たちが普段使っている携帯電話は近年コンパクトになってきています。街中にたくさんあった公衆電話はどんどん数が減っています。そんな中それを持ち歩いていたらおもしろいだろうと思い、公衆電話型のリュックサックをデザインしました。

その他詳細は以下のホームページからご確認頂けます。

■革コン! 革のデザインコンテスト公式サイト <http://kawalove.com/>

本プレスリリースに関するお問い合わせ先

東京レザーフェアPR事務局 TEL:03-6323-2952 (株式会社ネットワークコミュニケーションズ内)

担当: 栗田 (yasuko@nwcom.jp / 080-3713-2572)、末政 (aya@nwcom.jp)、小島 (reimi@nwcom.jp)